

プロジェクト契約金額分析レポート

地域別・工事種別別 契約金額の合計・平均

構成1：分析概要

対象データ

- 対象テーブル：プロジェクトマスタ
- 総件数：40件
- 地域数：6地域（神奈川・東京・大阪・福岡・埼玉・愛知）
- 工事種別数：5種別（商業施設・マンション・物流倉庫・オフィスビル・道路工事）
- クロス集計組み合わせ数：22組み合わせ

分析の視点

本レポートでは以下の3つの視点から契約金額を分析します。

- 地域別：どの地域が契約金額の規模・単価で優位か
- 工事種別別：どの工事種別が収益性・規模で優位か
- 地域×工事種別クロス集計：特定の組み合わせに高単価・高規模案件が集中していないか

データ型に関する補足

契約金額_円 カラムは VARCHAR型（文字列型）として格納されています。数値演算（SUM・AVG）を行う際には TRY_CAST 関数を使用して数値型に変換しています。変換できない値は NULL として扱われるため、異常値による集計エラーを防ぐことができます。

構成2：地域別の契約金額

集計結果

地域	件数	契約金額合計（億円）	契約金額平均（億円）
神奈川	12件	107.2億円	8.9億円
東京	9件	84.8億円	9.4億円
大阪	8件	63.2億円	7.9億円
福岡	7件	50.3億円	7.2億円
埼玉	2件	24.7億円	12.4億円
愛知	2件	9.6億円	4.8億円

金額は「円単位の値 ÷ 100,000,000」で億円換算し、小数点第1位で四捨五入しています。

見解

契約金額合計が最大の地域：神奈川（107.2億円）

神奈川は全6地域の中で契約金額合計が最大（107.2億円）です。これは件数が12件と最多であることが主な要因です。件数の多さが合計金額を押し上げており、量的な主力エリアと言えます。ただし、1件あたりの平均は8.9億円と、東京（9.4億円）や埼玉（12.4億円）より低く、「件数の多さで合計を稼いでいる」構造です。

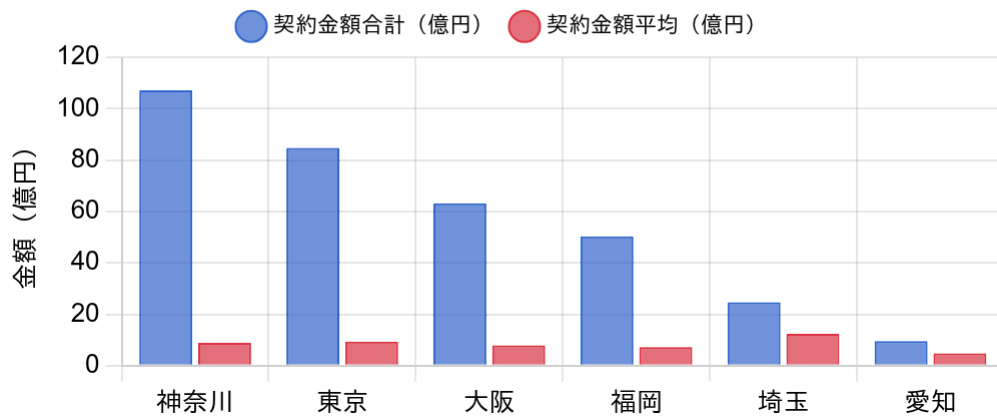
契約金額平均が最大の地域：埼玉（12.4億円）

埼玉は件数わずか2件にもかかわらず、1件あたりの平均契約金額が12.4億円と全地域で最高です。件数が少ない分、合計は24.7億円にとどまりますが、少数精鋭の高単価案件が集中している可能性があります。案件の質（単価）という観点では最も注目すべき地域です。

契約金額平均が最小の地域：愛知（4.8億円）

愛知は件数2件・合計9.6億円・平均4.8億円と、規模・単価ともに最小水準です。現時点では案件数が少なく、かつ小規模案件が中心の傾向があります。今後の案件獲得・単価向上の余地が最も大きいエリアとも言えます。

地域別 契約金額合計・平均（億円）



構成3：工事種別の契約金額

集計結果

工事種別	件数	契約金額合計（億円）	契約金額平均（億円）
商業施設	11件	93.5億円	8.5億円
マンション	9件	87.1億円	9.7億円
物流倉庫	8件	66.4億円	8.3億円
オフィスビル	7件	58.1億円	8.3億円
道路工事	5件	34.7億円	6.9億円

全体合計：339.8億円（40件）

見解

契約金額合計が最大の工事種別：商業施設（93.5億円）

商業施設は全体合計339.8億円のうち**93.5億円（約27.5%）を占め**、工事種別の中で最大のシェアを持ちます。件数も11件と最多であり、量・規模ともに主力の工事種別です。ただし、1件あたりの平均は8.5億円とマンション（9.7億円）より低く、件数の多さで合計を稼いでいる構造です。

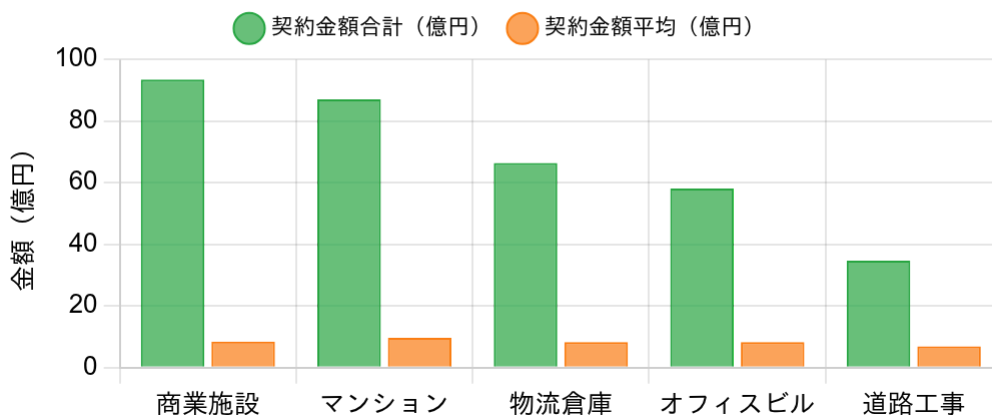
契約金額平均が最大の工事種別：マンション（9.7億円）

マンションは1件あたりの平均契約金額が**9.7億円と全種別で最高**です。件数も9件と多く、合計も87.1億円と商業施設に次ぐ2位です。**量・質ともにバランスが取れた高収益工事種別**と言えます。

契約金額平均が最小の工事種別：道路工事（6.9億円）

道路工事は件数5件・合計34.7億円・平均6.9億円と、平均単価が最も低い種別です。公共工事的な性格から単価が抑えられる傾向があると考えられます。件数・合計ともに最小水準であり、現状では補完的な位置づけの工事種別です。

工事種別 契約金額合計・平均（億円）



構成4：地域×工事種別のクロス集計（注目の組み合わせ）

注目すべき組み合わせ（抽出結果）

地域	工事種別	件数	契約金額合計（億円）	契約金額平均（億円）	注目理由
埼玉	オフィスビル	1件	12.9億円	12.9億円	契約金額平均 最大
神奈川	商業施設	5件	44.4億円	8.9億円	契約金額合計 最大・件数最多で安定
大阪	マンション	2件	23.0億円	11.5億円	高単価×複数件の優良組み合わせ
東京	オフィスビル	2件	22.7億円	11.3億円	高単価×都市型案件
愛知	道路工事	1件	0.9億円	0.9億円	契約金額平均 最小

各組み合わせの特徴

契約金額平均 最大：埼玉 × オフィスビル（平均12.9億円）

全22組み合わせの中で1件あたりの契約金額が最も高い組み合わせです。件数は1件のみですが、その1件が12.9億円という高単価案件です。埼玉エリアでのオフィスビル建設は大型案件になりやすい傾向が示唆されます。件数が増えれば、さらに大きな収益源になる可能性があります。

契約金額合計 最大 & 件数最多で安定：神奈川 × 商業施設（合計44.4億円・5件）

全組み合わせの中で契約金額合計が最大（44.4億円）かつ件数も5件と最多です。安定的に案件を獲得しており、神奈川エリアにおける商業施設工事が主力事業であることがわかります。平均8.9億円と単価も標準的で、量・安定性ともに優れた組み合わせです。

高単価×複数件の優良組み合わせ：大阪 × マンション（平均11.5億円・2件）

2件で平均11.5億円という高単価を維持しており、大阪エリアのマンション案件は高収益が期待できます。件数が増えれば合計金額も大きく伸びる可能性があります。

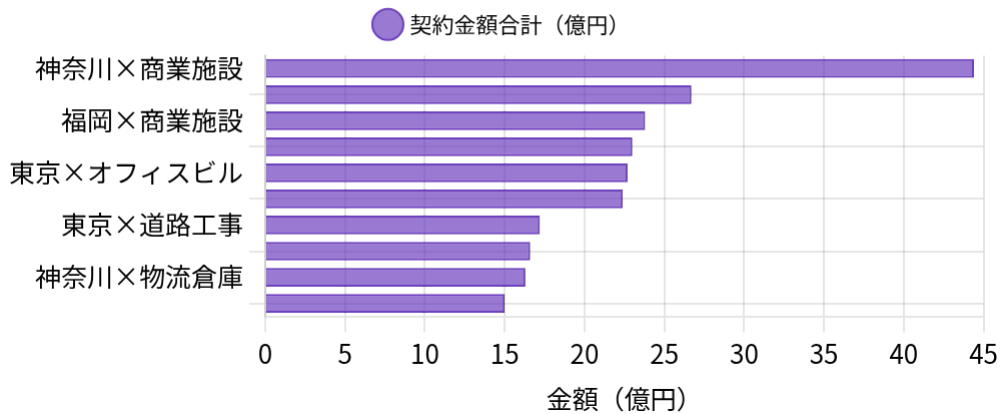
高単価×都市型案件：東京 × オフィスビル（平均11.3億円・2件）

東京の都市型オフィスビル案件は平均11.3億円と高単価です。都市部の大型オフィス需要を反映していると考えられます。

契約金額平均 最小：愛知 × 道路工事（平均0.9億円・1件）

全組み合わせの中で最も低単価の組み合わせです。1件のみで0.9億円という小規模案件であり、現状では収益への貢献度は限定的です。

地域×工事種別 契約金額合計 上位10組み合わせ（億円）



構成5：まとめと活用のヒント

合計・平均の計算方法

- **契約金額合計（SUM）**：対象グループ内のすべての案件の契約金額を足し合わせた値です。「そのエリア・種別でどれだけの売上規模があるか」を示します。
- **契約金額平均（AVG）**：対象グループ内の契約金額の合計を件数で割った値です。「1件あたりどれくらいの規模の案件を受注しているか（単価水準）」を示します。
- **億円換算**：取得した円単位の値を 100,000,000（1億）で割り、小数点第1位で四捨五入しています。

ビジネス的な読み取りポイント

量・質ともに主力となっているエリア：神奈川・東京

神奈川は件数12件・合計107.2億円と量的に最大のエリアです。東京は件数9件ながら平均9.4億円と単価も高く、量・質のバランスが優れています。この2エリアで全体の約56.5%（191.9億円）を占めており、**事業の中核エリア**と言えます。特に神奈川×商業施設（44.4億円・5件）は最も安定した収益源です。

少数精鋭の高単価案件が集中しているエリアの可能性：埼玉

埼玉は件数わずか2件ながら平均12.4億円と全地域で最高単価です。埼玉×オフィスビル（12.9億円）・埼玉×マンション（11.8億円）ともに高単価であり、**大型案件が集中している可能性**があります。件数を増やすことができれば、高収益エリアとして急成長する可能性があります。

高収益が期待できる工事種別：マンション

マンションは平均9.7億円と全種別で最高単価を誇り、件数も9件と多く合計87.1億円（全体の約25.6%）を占めます。大阪×マンション（平均11.5億円）・神奈川×マンション（平均11.2億円）など、複数エリアで高単価を維持しており、**安定した高収益工事種別**です。

規模拡大の余地があるエリア・工事種別：愛知・道路工事

愛知は現在2件・合計9.6億円・平均4.8億円と最小規模ですが、他エリアの実績を見ると同種別でより高単価の案件獲得が可能と考えられます。道路工事も平均6.9億円と最低単価ですが、件数を増やすことで合計規模の拡大が見込めます。これらは**今後の開拓余地が最も大きい領域**です。

分析サマリー

観点	結果
契約金額合計 No.1 地域	神奈川（107.2億円・12件）
契約金額平均 No.1 地域	埼玉（12.4億円・2件）

観点	結果
契約金額合計 No.1 工事種別	商業施設 (93.5億円・11件・全体の27.5%)
契約金額平均 No.1 工事種別	マンション (9.7億円・9件)
最高単価の組み合わせ	埼玉×オフィスビル (12.9億円・1件)
最大規模の組み合わせ	神奈川×商業施設 (44.4億円・5件)
最低単価の組み合わせ	愛知×道路工事 (0.9億円・1件)